

## 社員の皆様へのメッセージ

株式会社 イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2017. 10  
No.290

今回は、臨済宗全生庵住職の平井正修著  
「山岡鉄舟修養訓」より二つの話を紹介させて  
いただきます。

### “正しい”とはどういうことか

我々は、自分が正しいと思って発言したり行動したりする。しかし、自分が正しいというのは、意見を異にする相手を間違いだともみなすことになる。これは敵をつくることにもつながる。人間はどうしても正しい答えがあると考える。それが子供のときからの教育上の問題なのか、そもそも人間とはそういう思考をするものなのかはわからないけれど、何事にも正解があると思

ひつぎ。

テストであれば1+1=3と書いたら不正解になるだろうし、漢字の線が一本抜けていたらバツをつけられるだろう。しかし実生活の上では、漢字の線が一本抜けても、読めればいいじゃないかといって済ますこともできる。(中略)

正しい答えが常にあるわけではないのだ。その瞬間は正しくても、十日経ったら違っていたということもある。一年も経てば「なんで去年はあんなことをしたんだろう」と思うこともあるし、十年経てみれば「あの考えは全く間違いだつたな」ということも、おそらく実生活の上ではたくさんあるに違いない。

だから自分の正しさに酔うのは危険なのだ。おそらくイスラム国の人たちだって自分たちは正しいと思っているのだろう。コーランの教えに忠実であり、アラーの神に忠実であると信じて、自分たちの正しさに酔っているのだろう。

自分という固定したものをつくってしまうと、そこに対立する相手が生まれる。自分が絶対に正しいと思うと、必然的に相手が間違っていると思うようになる。大なり小なりそういうことが常に起こり得るということを、心に留めておかななくてはならない。

『自分が絶対に正しい』という文を読んで思い出したのが、私の大学時代の恩師、羽石教授のアドバイスです。

「君たちは“絶対”という言葉をよく使うが、“絶対”ということは世の中には無いのだ。だから頻繁に使ってはいけない。軽く(不勉強者に)見られるぞ。注意しなさい。」

では、“正しい”とはどういうことか。

「何が正しいか」ということは常に人から学んでいないと、平井氏が言うとおりの問題や間違いが起きます。これは、私がイナテック企業理念の中で申し上げている「人間学」を通して、常にブラッシュアップを続けていなければいけないということにつながります。

社内木鶏を通して、“何が正しいか”を探し続けましょう。

### 形を調べ、心を調える

たとえば会社の人事異動で閑職に追いやられたとする。そのときに「どうして俺がこんなくだらない仕事を」と思ったとすれば、その瞬間に、その仕事はどうやってもくだらないものにし

ならない。くだらないと思いがち、きちんとした仕事ができるわけではないからだ。しかし、ついそう思ってしまう人は少なくないに違いない。

心を瞬時に調えることはなかなか難しい。なぜならば、心は目に見えない、形のないものだからだ。そんな見えない心を調えるにはどうすればいいのか。それにはまず形を調えることだ。形というのは言葉であつたり、礼儀作法であつたり、目に見えるものだ。それを調べていくのである。

修行道場に行くと、立つたり坐つたり、あるいは障子を開けたり閉めたり、お辞儀ひとつ、箸の持ち方ひとつ、歩き方ひとつ、そういうものができていないとできるまで徹底的に怒られる。そういう目に見える形を調べていくことによつて、内面が調つていくのである。(中略)

ちゃんとやる人は全部ちゃんとやるし、いいかげんなやつは全部いいかげん。何をやってもその人の心がけがそのまま表れてくるのである。

ある野球部の監督は、野球の前にはまず襪だといつていた。時間を守りなさい、出たものは全部きちんと食べなさい。そんな野球には全く関係ないと思うようなことが、実は野球に表れてくる。日常生活がそのまま野球のプレーに表れてくるというのである。

この文章の『心を調える』とは、まさしくイナテック企業理念の中の『心を整える』なのです。

「靴をそろえる、だまつてそろえる、心がそろつてくる」

目に見えるものを整えることによつて、内面が整つていきます。そして、最後まできちんとして事をやり遂げる社員になり、お客様に100%良品をお届けすることができます。

もつといいイナテックにはありませんか。

ヒラメ型人間をなくす

ヒラメという魚は目が上を向いています。組織の中で上司ばかりを意識している人を「ヒラメ型人間」と言います。

どうしてこんな人が増えるのか考えて見よう。

「過去、上司が何事にも関与して仕事を任さない」、「上司を通さないと文句を言われる」、「職務権限が明確になつていない」もし、このよ

うな事が長年続いたら、ヒラメ型人間は増えていくだろう。

どうすれば良いのか? 「まず自分自身で、方法、進め方、アイデア、解決策等を考えるクセをつける(必ず自分の意見を持つ)」、「出来れば代替案(A案・B案)を考えるクセをつける」、「最後までイメージし考えるクセをつける」、「そしていつも上司と活発な意見交換をする」

ある冊子に載つていた文です。

私たちも自分の意見や考えをしっかり持つて、「いつも上司と活発な意見交換」ができるイナテックにしましょう。

## 五二

欲其中者、波沸寒潭、山林不見其寂。虚其中者、涼生酷暑、朝市不知其喧。

その心の中を欲でいっぱいにしてている人は、白波が澄んだふちに沸き上るようで、静かな山林に住んでいても、その静寂さを味わうことができない。(これに反し)、その心の中を空にしている人は、ま夏にも涼風が生じ、騒がしい町なかに住んでいても、その騒がしさを感ぜない。

